

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 3 単位

対象学年組： 1学年 M1組～ S組

教科担当者：（M1組・M2組：播摩・葭田・興津）（E組：播摩、興津）（A組・S組：播摩・葭田・興津）

使用教科書：（第一学習社 現代の国語） 副教材：（第一学習社 言語力ドリル入門 読む・書く）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 自己を見つめる 【知識及び技能】 常用漢字を文の中で活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、要旨を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生きる原点としての自己への理解を深めようとする。	・福岡伸一 「ルリボシカミキリの青」 ・村田沙耶香 「こそそめスープ」		○		・常用漢字を正確に読み、文の中で活用している。 ・内容や構成、要旨を把握している。 ・学習の見通しをもって、本文の構成を捉えようとしている。	○	○	○	10
	a 言語力ドリル1～3 【知識及び技能】 順序を表す言葉を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報をわかりやすく伝える工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語力ドリル入門 1 順序を読む（1） 2 順序を読む（2） 3 概観・詳細 ・作文、小テスト		○	○	・順序を表す言葉を理解している。 ・情報をわかりやすく伝える工夫をしている。 ・効果的に書く方法を理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○	○	○	4
	言語活動1 【知識及び技能】 聞き手に伝わるスピーチの方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 他の人のスピーチを聞き取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語活動 「話し方の工夫」 ・言語活動 「スピーチで自分を伝える」	○			・話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解している。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	5 社会と関わる・他者に出会う 【知識及び技能】 評論を読んで筆者の考えを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開、要旨を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・矢田勝美 「真夏のひしこ漁」 ・山崎正和 「水の東西」		○		・筆者の考えを読み取ることができる。 ・内容や構成、論理の展開を捉え、要旨を把握している。 ・学習の見通しをもって、本文の構成を捉えようとしている。	○	○	○	10
	b 言語力ドリル4～6 【知識及び技能】 具体・抽象の概念を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体と抽象の関係を押さえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語力ドリル入門 4 具体・抽象を理解する（1） 5 具体・抽象を理解する（2） 6 具体・抽象を意識して読む ・作文、小テスト		○	○	・具体・抽象の概念を理解している。 ・具体と抽象の関係を押さえている。 ・効果的に書く方法を理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○	○	○	4
	D 表現 【知識及び技能】 表記の基本ルールを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語活動 「書き方の基礎レッスン」 ・言語活動 「地域の魅力を紹介する」		○		・表記・表現の基本ルールを理解している。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解している。 ・目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 M1 組～ S 組

教科担当者： (M1組：西谷・山田) (M2組：西谷・山田) (E組：宮本・山田) (A組：宮本・山田) (S組：宮本・山田) (組：)

使用教科書： (高等学校 数学 I 数研出版)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	<p>単元 数と式①</p> <p>【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、一次不等式を問題解決に活用する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 式の計算や数の拡張、一次不等式のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導項目 多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解</p> <p>・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I + A (数研出版)</p> <p>・一人 1 台端末の活用 「数研Library」というアプリを活用し、授業プリントの共有等を行う</p>	<p>【知識・技能】 基本的な計算を通して、数学の用語やその意味を理解することができる。また、式を整理することができる。二次の乗法公式及び因数分解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的にとらえたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の計算や数の拡張、一次不等式のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 数と式②</p> <p>【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、一次不等式を問題解決に活用する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 式の計算や数の拡張、一次不等式のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導項目 3次式の展開と因数分解 実数 根号を含む計算 2重根号 不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式</p> <p>・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I + A (数研出版)</p> <p>・一人 1 台端末の活用 「数研Library」というアプリを活用し、授業プリントの共有等を行う</p>	<p>【知識・技能】 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。不等式の解の意味や不等式の性質について理解している。また、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 不等式の性質をもとに、一次不等式を解く方法を考えることができる。日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の計算や数の拡張、一次不等式を活用した問題解決において、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	

	<p>単元 2次関数①</p> <p>【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、2次関数を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、事象を数学的に捉えて問題を解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数について、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目 関数とグラフ 2次関数のグラフ グラフの平行移動・対称移動 2次関数の最大・最小 2次関数の決定</p> <p>・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I + A (数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用 「数研Library」というアプリを活用し、授業プリントの共有・グラフの作成等を行う</p>	<p>【知識・技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。2次関数の最大値や最小値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次関数の性質や式の変形をもとに、問題を解く方法を考えることができる。2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどしてして多面的に考察すること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数や2次不等式のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。</p>	○	○	○	20
2学期	定期考査			○	○		1
	<p>単元 2次関数②</p> <p>【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、2次関数を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、事象を数学的に捉えて問題を解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数について、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目 2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係 放物線と直線の共有点 2次不等式 絶対値を含む関数のグラフ</p> <p>・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I + A (数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用 「数研Library」というアプリを活用し、授業プリントの共有・グラフの作成等を行う</p>	<p>【知識・技能】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数や2次不等式のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。2次関数や2次不等式を活用した問題解決において、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>単元 図形と計量</p> <p>【知識及び技能】 三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、三角比を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三角比について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の品質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、三角比の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 三角比について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。</p>	<p>・指導項目 三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張</p> <p>・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I + A (数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用 「数研Library」というアプリを活用し、授業プリントの共有・問題の考察等を行う</p>	<p>【知識・技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比を求める方法を理解している。正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどをもとめることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 三角比やそれに関わる定理・公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	余裕があれば、データの分析を行う。						合計 105

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションI

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションI 単位数： 3 単位

対象学年組： 第1学年 M1組～ M2組 E組 A組 S組

教科担当者： (M1組：松本・鶴田)(M2組：唐澤・松本)(E組：鶴田・唐澤)(A組：松本・鶴田)(S組：唐澤・松本)

使用教科書： (All Aboard! English Communication I)

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の習得にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自発的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションI の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったり、文章を書いて伝えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取ろうとしたり、話し手や書き手の意図を把握しようとして、概要や要点を目的に応じて捉えようとして、また基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えようとして、文章を書いて伝えようとしてすることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （や）	話 （発）	書				
Lesson 1 Breakfast around the World 【知識及び技能】 【知識】動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【技能】世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身に付けている。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】世界の朝食に関して書かれた文章について、開いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】世界の朝食に関して書かれた文章について、開いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 【言語材料】過去形 【言語活動】好きな食べ物について、英語で述べるができる。 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】動詞の過去形を用いた文の形・意味を理解している。 【技能】動詞の過去形の理解をもとに、世界の朝食を紹介するスピーチや、興味関心したかについて対話の内容を開き取る技能を身に付けている。 【技能】動詞の過去形を用いた文の形・意味を理解している。 【技能】世界の朝食について学んだ事柄や、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【技能】世界の朝食について学んだ事柄や、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【技能】世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【技能】世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【思考力、判断力、表現力等】開くこと：世界の朝食を紹介するスピーチや、好きな食べ物についての対話の概要を捉えている。 読むこと：世界の朝食について書かれた文章の概要を捉えている。 やり取り：おたがいにについてよりよく知るために、世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話している。 発表：世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話している。 書くこと：好きな食べ物について紹介するために、世界の朝食について学んだ事柄を用いて、自分の考えや好み、その理由などを書こうとしている。	○	○	○	○	○	○	○	10
Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 【知識及び技能】 【知識】進行形 (be 動詞+動詞の-ing 形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【技能】進行形 (be 動詞+動詞の-ing 形)の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、開いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、開いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 【言語材料】進行形：(be 動詞+動詞の-ing 形) 【言語活動】好きな動物について、英語で述べることができる。 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】進行形 (be 動詞+動詞の-ing 形)を用いた文の形・意味を理解している。 【技能】進行形 (be 動詞+動詞の-ing 形)の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物を紹介するスピーチの内容を開き取る技能を身に付けている。 【技能】進行形 (be 動詞+動詞の-ing 形)を用いた文の形・意味を理解している。 【技能】オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄や、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【技能】クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話している。 【技能】クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話している。 【技能】クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話している。 【技能】クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話している。 【思考力、判断力、表現力等】開くこと：オーストラリアに生息する珍しい野生動物を紹介するスピーチや好きな動物について話される対話の概要を捉えている。 読むこと：オーストラリアに生息する珍しい野生動物について書かれた文章の概要を捉えている。 やり取り：おたがいにについてよりよく知るために、クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話している。 発表：クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話している。 書くこと：好きな動物について紹介するために、クオッカについて学んだ事柄を用いて、自分の考えや好み、その理由などを書こうとしている。	○	○	○	○	○	○	○	10
定期考査			○	○	○					1

1
学
期

<p>Lesson 9 Fighting Plastic Pollution</p> <p>【知識及び技能】 【知識】「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事例を整理・理解している。【技能】「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちができることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちができることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>【題材内容】 プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。</p> <p>【言語材料】 名詞を後ろから説明する分詞</p> <p>【言語活動】 環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】 聞くこと：【知識】名詞を後ろから説明する分詞が用いられた文の形・意味を理解している。【技能】分詞（後置修飾）の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事例を用いて、自分たちができることを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>読むこと：【知識】プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>書くこと：【知識】プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>発表：【知識】プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 聞くこと：プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>読むこと：プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>書くこと：プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>発表：プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p>		10
<p>Lesson 10 Pigs from across the Sea</p> <p>【知識及び技能】 【知識】関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。また、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について、自分で調べた事例を整理・理解している。</p> <p>【技能】関係代名詞who, whichの理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>【題材内容】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。</p> <p>【言語材料】 関係代名詞：who, which</p> <p>【言語活動】 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べることができる。</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】 聞くこと：【知識】関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味を理解している。【技能】関係代名詞の理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>読むこと：【知識】関係代名詞の理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>書くこと：【知識】関係代名詞の理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>発表：【知識】関係代名詞の理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 聞くこと：第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>読むこと：第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>書くこと：第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p> <p>発表：第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事例を用いて、自分たちができることを書ける技能を身につけている。</p>		10
<p>定期考査</p>						1
						合計
						1
						0
						5

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 M1組～ S組

教科担当者：（M1組：竹内）（M2組：竹内）（E組：原島）（A組：原島）（S組：原島）

使用教科書：（高等学校 公共 これからの社会について考える）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、現代社会に生きる人間として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
西洋近現代の思想 【知識及び技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけさせる。	・第一節 西洋近現代の思想 1. 科学的・合理的な考え方 2. 民主社会の倫理 3. 他者とともに生きる ・考え方のレッスン 1・2	【知識・技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。	○	○	○	4
現代の諸課題と倫理 【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追究する。	・第二節 現代の諸課題と倫理 1. 地球環境をめぐる問題 2. 資源・エネルギーをめぐる問題 3. 生命をめぐる問題 4. 情報をめぐる問題 ・クローズアップ 01・02・03・04 ・Thinking time 05・06	【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1
1 学期 民主社会の基本原則 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治が自らの生活とかがわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	・第一節 民主社会の基本原則 1. 民主政治と基本的人権 2. 権力分立と法の支配 3. 個人や社会とのかかわり ・Thinking time 07 ・クローズアップ 05	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 【思考・判断・表現】 このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主政治が自らの生活とかがわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	○	○	○	4

	<p>日本社会の基本原則</p> <p>【知識及び技能】 日本国憲法の基本原則や保障されている権利を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原則との関連を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができる。</p>	<p>・第二節 日本社会の基本原則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国憲法と基本原則 2. 平等権・自由権 3. 社会権・参政権・請求権 4. 人権の広がり 5. 国会のしくみと役割 6. 内閣のしくみと行政機構 <p>・クローズアップ 06・07・08</p> <p>・Thinking time 08</p>	<p>【知識・技能】 日本国憲法の基本原則や保障されている権利が理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原則との関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができる。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>法と契約</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義や役割を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常の買い物や銀行のクレジットカードなど具体的な例を挙げる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行う。</p>	<p>第一節 法と契約</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法・規範の意義と役割 2. 経済社会とルール 3. 契約と消費者の権利 <p>・クローズアップ 09</p> <p>・Thinking time 09・10</p>	<p>【知識・技能】 法や規範の意義や役割が理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 日常の買い物や銀行のクレジットカードなど具体的な例を挙げる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。</p>	○	○	○	3
	<p>司法参加の意義</p> <p>【知識及び技能】 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察する。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえて積極的に参画する自覚を持たせる。</p>	<p>第二節 司法参加の意義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 司法権と日本の裁判制度 2. 司法参加の意義 <p>・クローズアップ 10・11</p> <p>・Thinking time 11</p>	<p>【知識・技能】 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえて積極的に参画する自覚を持つことができる。</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
	<p>政治参加と民主政治の課題</p> <p>【知識及び技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つ。</p>	<p>・第一節 政治参加と民主政治の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 選挙の役割と意義 2. 政党の役割 3. 地方自治の現状と課題 4. 世論の形成と政治参加 <p>・クローズアップ 12・13</p> <p>・Thinking time 12</p>	<p>【知識・技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができる。</p>	○	○	○	4
<p>国際政治の動向</p> <p>【知識及び技能】 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割を理解する。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割を理解する。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察する。 ・国連の現状と課題について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てる。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができる。</p>	<p>・第二節 国際政治の動向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会と国際法 2. 戦後の国際情勢 3. 現代の紛争 <p>・クローズアップ 14</p> <p>・Thinking time 13</p>	<p>【知識・技能】 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てる。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができる。</p>	○	○	○	5	
定期考査				○	○	○	1

3 学 期	<p>経済のしくみと産業の変化</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の企業の果たしている役割を理解している。 中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解している。 産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の企業倫理について考察している。 経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> AI やIT などの先端技術が発展するなかで、自分の進路や職業選択を考えることができる。 経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられる。 	<p>・第一節 経済のしくみと産業の変化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済生活のしくみ 2. 企業の働きと役割 3. 日本を支える中小企業と農業 4. 産業構造の変化と職業 5. 労働者の権利 6. 現代の労働問題 <p>・クローズアップ 17・18</p> <p>・Thinking time 16・17</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の企業の果たしている役割が理解できている。 中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。 産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の企業倫理について考察できている。 経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> AI やIT などの先端技術が発展するなかで、自分の進路や職業選択を考えることができる。 経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。 	○	○	○	9
	<p>市場経済のしくみと金融</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場経済のメカニズムを理解する。 各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができる。 金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察する。 GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的は消費行動がとれる。</p>	<p>・第二節 市場経済のしくみと金融</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市場経済のしくみと物価 2. 国民所得と経済成長 3. 金融の役割と金融政策 <p>・クローズアップ 19・20・21</p> <p>・Thinking time 18・19</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場経済のメカニズムが理解できている。 各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができている。 金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。 GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的は消費行動がとれている。</p>	○	○	○	6
	<p>財政と社会保障</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府が経済に果たしている役割を理解している。 財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示している。 社会保障について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の老後生活を予想し、租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランス考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の経済について課題を発見し、解決する見通しが持てる。 	<p>・第三節 財政と社会保障</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財政と租税の役割 2. 公害対策と環境保全 3. 少子高齢社会における社会保障 <p>・クローズアップ 22・23</p> <p>・Thinking time 20</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府が経済に果たしている役割を理解できている。 財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 社会保障について理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の老後生活を予想し、租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランス考察できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の経済について課題を発見し、解決する見通しが持っている。 	○	○	○	6
	<p>国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貿易や外国為替相場について、そのしくみを理解している。 戦後の国際経済の流れを理解している。 発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できる。 格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持つことができる。 	<p>・第四節 国際経済の動向と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際経済のしくみ 2. 戦後の国際経済体制 3. グローバル化と現代の国際経済 4. 地域経済統合 5. 南北問題とその課題 <p>・クローズアップ 24・25・26</p> <p>・Thinking time 21</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貿易や外国為替相場について、そのしくみが理解できている。 戦後の国際経済の流れが理解できている。 発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。 格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持つことができている。 	○	○	○	7

<p>課題研究</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できる。 ・現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できる。 ・それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つことができる。 	<p>・持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題を発見しよう 2. 課題を設定しよう 3. 情報を収集しよう 4. 研究成果をまとめて社会へ発信しよう 5. 討論してみよう <ul style="list-style-type: none"> ・クローズアップ 27 ・Thinking time 22 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できている。 ・現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できている。 ・それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つことができている。 	○	○	○	3
						合計

年間授業計画 新様式

教科:理科 科目:科学と人間生活 単位数:2単位

対象学年組:1学年 1～5組

教科担当者:(1組 機械科:林元)(2組 機械科:林元)(3組 電気科:林元)(4組 建築科:二井内吉信)(5組 設備工業科:二井内吉信)

使用教科書:科学と人間生活/東京書籍

学習内容	指導目標	配当時間	評価の観点	評価の内容	評価の方法
1編 生命の科学					
第1章 ヒトの生命現象					
①遺伝情報とDNA ②生命活動を支えるタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子の本体であるDNAの構造について理解させる。 タンパク質がヒトの生命現象に関与していることを理解させる。 遺伝子の情報をもとにタンパク質がつくられることを理解させる。 	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> DNAとタンパク質の構造について理解する。 DNAの塩基配列の情報からタンパク質のアミノ酸配列が決定されることを理解する。 血糖濃度がすい臓からのホルモンによって調節されるしくみを理解する。 糖尿病とインスリンとの関係について理解する。 抗体による免疫のしくみについて理解する。 アレルギーと予防接種について理解する。 眼の構造について理解する。 視覚が発生するしくみを理解する。 体内時計が光の刺激によって調節され、ヒトの行動に関与することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Q」について、答えさせる。 「やってみよう」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 「観察と実験」①～③に取組ませる。 章末問題「まとめと演習」に取り組ませる。 「チェック」について、簡単な説明をさせる。
③血糖濃度とホルモン ④血糖濃度の調節と健康	<ul style="list-style-type: none"> 食事や運動などの活動によって、血糖濃度は一時的に変動するが、ホルモンにより調節されて一定の範囲内に保たれていることを理解させる。 すい臓から分泌されるホルモンの作用により、血糖濃度が調節されるしくみを理解させる。 インスリンの分泌不足などにより糖尿病が発症されること 	3	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> DNAを抽出実験を通して、DNAの構造について考察できる(「観察と実験①」)。 DNAとタンパク質についての学習を通して、生命の設計図としてのDNAの役割を説明できる。 糖尿病とホルモンの関係を理解し、糖尿病に対する治療法や予防法について考察できる。 抗体による免疫のしくみについての学習を通して、アレルギーや予防接種について説明できる。 盲点の実験を通して、眼の構造について説明できる(「観察と実験②」)。 鏡視の体験を通して、視覚の発生について考察できる(「観察と実験③」)。 体内時計についての学習を通して、規則的な生活の重要性を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 「観察と実験」①～③の結果について考察させ、レポートの作成、発表、グループ討論などに取組ませる。 「未来をひらくサイエンス」について、グループで話し合いをさせる。
⑤免疫とからだの防御 ⑥免疫と健康	<ul style="list-style-type: none"> ヒトのからだには、病原体を排除する免疫が働いていることを理解させる。 抗体による生体防御の概要を理解させる。 免疫のはたらきに異常が生じることによって、アレルギーが発症することを理解させる。 ワクチンによる予防接種のしくみについて理解させる。 	4	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ヒトの生命現象についての学習内容を、日常生活や健康管理に結びつけ、意欲的に理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容をまとめたノートを提出させる。 「コラム」「将来×サイエンス」「ニュースペーパー」などに積極的に取り組んでいるかを観察する。
⑦眼の構造とはたらき ⑧光の情報と生命活動	<ul style="list-style-type: none"> ヒトの眼の基本的な構造を理解させる。 眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じることを実験を通して理解させる。 体内時計が光の刺激によって調節され、睡眠などのヒトの行動に関わっていることを理解させる。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 「Q」について、答えさせる。 「やってみよう」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 「観察と実験」①～③に取組ませる。 章末問題「まとめと演習」に取り組ませる。 「チェック」について、簡単な説明をさせる。 	
第2章 微生物とその利用					
①身のまわりの微生物 ②微生物とその発見の歴史	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの身のまわりには無数の微生物が存在することを実験を通して理解させる。 微生物には特徴の異なるさまざまな生物が含まれることを理解させる。 目に見えない微生物の存在を認識するに至った科学史を学習させる。 	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の生息場所や種類について理解する。 微生物に関わる一連の科学史を理解する。 発酵および発酵食品について理解する。 乳酸発酵およびアルコール発酵について理解する。 ワクチンや抗生物質などの医薬品の製造に微生物が関わっていることを理解する。 炭素循環と窒素循環に微生物が関わっていることを理解する。 汚水や環境の浄化に微生物が利用されていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Q」について、答えさせる。 「やってみよう」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 「観察と実験」①～⑤に取組ませる。 章末問題「まとめと演習」に取り組ませる。 「チェック」について、簡単な説明をさせる。
③発酵食品への微生物の利用 ④乳酸発酵とアルコール発酵 ⑤医薬品への微生物の利用	<ul style="list-style-type: none"> 発酵食品の生産には微生物が利用されることを、食品中の微生物の観察を通して理解させる。 乳酸発酵とアルコール発酵が起こる際の反応を理解させるとともに、それぞれを利用してつくられる発酵食品について学習させる。 ワクチンや抗生物質などがどのような物質であるのかを理解させるとともに、それらの医薬品の生産に微生物が利用されていることを理解させる。 	6	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 微生物を培養する実験から、微生物が生息する場所について考察できる(「観察と実験①」)。 微生物の科学史についての学習を通して、目に見えない微生物を調べる方法について考察できる。 発酵食品に含まれる微生物の観察を通して、発酵食品と微生物との関わりについて考察できる(「観察と実験②」)。 アルコール発酵の実験を通して、アルコール発酵の反応について説明できる(「観察と実験③」)。 土壌中の微生物を確認する実験を通して、生態系における微生物の役割を説明できる(「観察と実験④」)。 活性汚泥の観察を通して、下水処理のしくみについて説明できる(「観察と実験⑤」)。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 「観察と実験」①～⑤の結果について考察させ、レポートの作成、発表、グループ討論などに取組ませる。 「未来をひらくサイエンス」について、グループで話し合いをさせる。
⑥生態系における微生物 ⑦環境の浄化と微生物	<ul style="list-style-type: none"> 分解者としての微生物のはたらきを理解させる。 炭素や窒素の循環の概要とそれに関わる微生物の役割を理解させる。 微生物による分解によって自然浄化が行われていることや、微生物の分解能力を利用した浄化が試されていることを学習させる。 	5	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 微生物が人間の生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容をまとめたノートを提出させる。 「コラム」「将来×サイエンス」「ニュースペーパー」などに積極的に取り組んでいるかを観察する。

第2編 物質の科学					
第1章 材料とその再利用					
①金属と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> 現代の生活では多くの金属が産地たちの生活を支えていることを理解させる。 金属に共通する性質を理解させる。 金属結合する自由電子により、金属が特有の性質を示すことを理解させる。 	2	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な金属の性質と構造について理解する。 鉄、銅、アルミニウムの性質と用途に関連付けて理解する。 鉄、銅、アルミニウムの製錬の方法について理解する。 金属の腐食(さび)のしくみと、その防止について理解する。 一般的なプラスチックの性質を理解する。 プラスチックが、単量体が重合してできる高分子化合物であることを理解する。 プラスチックの化学構造について理解し、燃焼により生じる物質について理解する。 身のまわりのプラスチックの利用例について理解する。 3Rの考え方について理解する。 ガラス、金属、プラスチックの再利用の方法について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Q」について、答えさせる。 「やってみよう」①～⑥に取り組ませる。 「観察&実験」①～②に取り組ませる。 「章末問題「まとめと演習」」に取り組ませる。 「チェック」について、簡単な説明をさせる。
②身のまわりの金属と精錬 ③金属のさびとその防止	<ul style="list-style-type: none"> 身近な鉄・銅・アルミニウムを例に、それぞれの性質と利用例について理解させる。 鉄・銅・アルミニウムの製錬の方法を理解させる。 金属の腐食(さび)について理解させ、それを防ぐ方法をあわせて理解させる。 	5	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 金属が性質を示すしくみや金属結合による構造について、自由電子と関連させて説明できる。 鉄・銅・アルミニウムの用途について、各金属の性質と関連させて説明できる。 鉄、銅、アルミニウムの製錬の方法について、順を追って説明できる。 「観察&実験①」を通し、金属の酸化物から金属の単体を取り出す方法について考察できる。 金属がさびるしくみについて、金属のイオンになりやすさと関連して考察できる。 プラスチックの用途について、プラスチックの性質と関連させて説明できる。 「観察&実験②」を通し、プラスチックと金属の性質を比較して考察できる。 資源の有効活用について、現状の問題点を理解し、自分たちにできることを考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」①～⑥について振り返り、学習内容を踏まえてグループでの話し合いをさせる。 「観察&実験」①～②の結果について考察させ、レポートの作成、発表、グループ討論などに取り組ませる。 「未来をひらくサイエンス」について、グループで話し合いをさせる。
④プラスチックとその性質 ⑤プラスチックの成りたち ⑥さまざまなプラスチック	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックの利用例と、一般的な性質を理解させる。 プラスチックの熱に対する性質を理解させる。 プラスチックのような高分子化合物が単量体の重合によってつくられることを理解させる。 プラスチックの構成元素を理解させ、燃焼によって生じる物質について理解させる。 身のまわりに多く使われているプラスチックの種類について理解させる。 近年開発が進められている優れた機能をもつプラスチックについて理解させる。 	6	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 材料とその再利用について学習した内容を、日常生活における身近な製品や環境問題などと結びつけ、意図的に理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容をまとめたノートを提出させる。 「コラム」「将来×サイエンス」「ニュースペーパー」などに積極的に取り組んでいるかを観察する。
⑦資源の再利用	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を目指すために、資源の有効活用に向けた3Rなどの考え方を理解させる。 ガラス・金属・プラスチックの再利用について理解させる。 	2			
第2章 衣料と食品					
①衣料と繊維 ②天然繊維	<ul style="list-style-type: none"> 繊維が衣料の材料として用いられる素材であることを理解させる。 原料や成りたちによって分けられる繊維の分類について理解させる。 植物繊維の種類や特徴、利用例について理解させる。 動物繊維の種類や特徴、利用例について理解させる。 	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 繊維の分類について理解する。 植物繊維の種類と特徴について理解する。 動物繊維の種類と特徴について理解する。 合成繊維の種類と特徴について理解する。 再生繊維・半合成繊維の製法や種類、特徴について理解する。 優れた性能をもつ繊維の例について理解する。 栄養素の種類について理解する。 デンプン・タンパク質・油脂について、消化と吸収のしくみを理解する。 炭水化物の種類について理解する。 タンパク質がアミノ酸から構成されることを理解する。 タンパク質の性質と検出反応について理解する。 油脂の構造や消化される様子について理解する。 無機質とビタミンについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Q」について、答えさせる。 「やってみよう」①～⑦に取り組ませる。 「観察&実験」①～⑥に取り組ませる。 「章末問題「まとめと演習」」に取り組ませる。 「チェック」について、簡単な説明をさせる。
③化学繊維(1) ④化学繊維(2)	<ul style="list-style-type: none"> 合成繊維の種類や特徴、利用例について理解させる。 再生繊維・半合成繊維について、その製法や種類、特徴、利用例について理解させる。 これまでに学習した繊維のほか、優れた性能をもつ繊維について理解させる。 	4	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 「観察&実験①」を通し、繊維の燃えるようすから繊維の特徴を考察できる。 植物繊維の用途について、その特徴と関連付けて説明できる。 動物繊維の用途について、その特徴と関連付けて説明できる。 合成繊維の用途について、その特徴と関連付けて説明できる。 「観察&実験②」を通し、合成繊維の製法について考察できる。 再生繊維・半合成繊維の用途について、その特徴と関連付けて説明できる。 「観察&実験③」を通し、繊維の吸湿性からそれぞれの用途との関連性を考察できる。 栄養素の消化と吸収について、それぞれに作用する消化酵素をあけて説明できる。 「観察&実験④」を通し、デンプンの消化されるようすとその条件、消化による生成物について考察できる。 タンパク質を検出する反応について、その方法と反応のようすについて説明できる。 「観察&実験⑤」を通し、タンパク質の性質について考察できる。 「観察&実験⑥」を通し、油脂を抽出する方法と、食品に含まれる油脂の量について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」①～⑦について振り返り、学習内容を踏まえてグループでの話し合いをさせる。 「観察&実験」①～⑥の結果について考察させ、レポートの作成、発表、グループ討論などに取り組ませる。 「未来をひらくサイエンス」について、グループで話し合いをさせる。
⑤食品と栄養素 ⑥炭水化物	<ul style="list-style-type: none"> 私たちが食品から取りこむ栄養素の種類について理解させる。 デンプン・タンパク質・油脂について、消化と吸収のしくみを理解させる。 炭水化物には単糖・二糖・多糖があることを理解させる。 デンプンが消化されるようすについて理解させる。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 衣料と食品について学習した内容を、日常生活における身近な衣料や食品と結びつけ、意図的に理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容をまとめたノートを提出させる。 「コラム」「将来×サイエンス」「ニュースペーパー」などに積極的に取り組んでいるかを観察する。
⑦タンパク質 ⑧脂質とその他の栄養素	<ul style="list-style-type: none"> タンパク質がアミノ酸から構成されることを理解させる。 タンパク質の性質と、タンパク質を検出する反応について理解させる。 脂質について、油脂を例として取り上げ、構造や消化されるようすについて理解させる。 無機質とビタミンについて理解させる。 	4	主体的に学習に取り組む態度		

第3編 光や熱の科学				
第1章 光の性質とその利用				
①光の色	<ul style="list-style-type: none"> ・白色光はあらゆる色の光が混ざったものであることを理解させる。 ・光の3原色の組合せでさまざまな色の光をつくり出せることを、実験を通して理解させる。 ・光の色と波長の関係を理解させる。 ・人間の目で感知することができる可視光線だけでなく、人間の目には見えない光(紫外線や赤外線)があることについても触れる。 	2	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q」について、答えさせる。 ・「やってみよう」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 ・「観察&実験」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 ・「チェック」について、簡単な説明をさせる。
②光の直進と反射 ③光の屈折と全反射	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な光の進み方(光の直進性、光の速さ)について理解させる。 ・反射した光の進み方について理解させる。 ・自然光と偏光の違いについて理解させる。 ・屈折した光の進み方について理解させる。また、屈折率について実験を通して理解させる。 ・全反射はどのような現象か理解させる。 	5	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「観察&実験①」を通して、光の3原色から白色の光をつくり出すにはどうすればよいか説明できる。 ・「観察&実験②」を通して、お互いの凹面と凸面それぞれのように光が反射しているか考察できる。 ・光の屈折について学習したことから、お金の底にコインを置いて水を注ぐことでコインの見え方が変わる理由を説明できる。 ・屈折率について学習したことを利用して、ガラスの屈折率を測定することができる(「観察&実験③」)。 ・さまざまな光源からの光のスペクトルを観察し、それぞれの特徴をまとめることができる(「観察&実験④」)。 ・光の散乱について学習したことから、昼間の空が青く、夕焼けが赤く見える理由を説明できる。 ・光の干渉について学習したことから、しゃぼん玉が虹色に見える理由を説明できる。 ・電磁波の性質について学習したことから、山かげで受信しやすいのは、AM放送とFM放送のどちらか考察できる。
④光の分散と散乱 ⑤光の回折と干渉	<ul style="list-style-type: none"> ・光の分散はどのような現象か理解させる。 ・光源による光のスペクトルの違いについて実験を通して理解させる。 ・光の散乱はどのような現象か理解させる。 ・波の回折・干渉とはどのような現象か理解させるとともに、光も回折・干渉することを理解させる。しゃぼん玉が虹色に見える理由にも触れ、光の干渉について理解を深めさせる。 	5	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・光の性質とその利用についての学習内容を、日常生活や身近な現象に結びつけ、意欲的に理解しようとしている。
⑥電磁波 ⑦電磁波の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・光は電磁波の一種であることを理解させる。 ・電磁波の種類について理解させる。 ・電磁波は波であり、反射・屈折・回折・干渉などの性質を示すことを理解させる。 ・電波、赤外線、紫外線、X線やγ線といった電磁波は、それぞれどのように利用されているか学習させる。赤外線や紫外線の性質については、実験を通して理解を深めさせる。 	3		
第2章 熱の性質とその利用				
①温度と熱運動 ②熱容量・比熱	<ul style="list-style-type: none"> ・温度は何を表すものなのか理解させる。また、物体をつくる粒子が熱運動をしていることを、実験を通して理解させる。 ・セルシウス温度と絶対温度について理解させる。 ・熱平衡とはどのような状態か理解させる。 ・熱容量と比熱について理解させる。また、熱量の保存についても学習させ、実験を通してこれらについて理解を深めさせる。 	5	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q」について、答えさせる。 ・「やってみよう」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 ・「観察&実験」①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に取組ませる。 ・「チェック」について、簡単な説明をさせる。
③熱の伝わり方 ④仕事や電流と熱の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・熱伝導、対流、熱放射では、それぞれどのように熱が伝わるのか理解させる。 ・物質の三態、融解熱・蒸発熱について、物質をつくる粒子に着目して理解させる。 ・仕事による熱の発生について、実験を通して理解させる。ジュールの実験にも触れ、仕事と熱量が比例関係にあることを学習させる。 ・電流の仕事により熱が発生すること、その発熱量はジュールの法則に従うことを理解させる。 ・電力量と電力の定義について学習させる。 	4	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「熱運動について学習したことから、絵の具の微粒子の運動(ブラウン運動)が起こる理由を説明できる(「観察&実験①」)。 ・熱平衡、比熱、熱量の保存について学習したことを利用して、物質の比熱を測定することができる(「観察&実験②」)。 ・熱伝導、対流、熱放射について、それぞれの熱が伝わるか説明できる。 ・仕事と熱の発生について学習したことから、圧縮発熱器で紙片が燃える理由を説明できる(「観察&実験③」)。 ・ジュール熱について学習したことから、電流を流すことで熱が発生する理由を説明できる。 ・図17(p.147)で、エネルギーの変換の例をあげることができる。 ・「観察&実験④」を通して、エネルギーがどのように変換されているか説明できる。 ・この章で学習したことや「未来をひらくサイエンス」をふまえ、エネルギーを効率的に利用することの重要性を説明できる。
⑤エネルギーの移り変わり ⑥熱エネルギーの利用 ⑦エネルギー資源の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーには、いろいろな種類があることを学習させる。また、エネルギーは相互に変換されることを実験を通して理解させる。 ・熱機関について、実験を通して理解させる。また、熱効率についても学習させ、得た熱量のすべてを仕事に変えることはできないことを理解させる。 ・可変変化と不可変変化は、それぞれどのような変化か理解させる。 ・さまざまな発電方法でどのように電力を生み出しているか理解させる。 ・複合サイクル方式やコージェネレーションシステムなど、エネルギーを効率的に利用する技術があることを学習させる。 	6	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・熱の性質とその利用についての学習内容を、日常生活や身近な現象に結びつけ、意欲的に理解しようとしている。 ・学習内容をまとめたノートを提出させる。 ・「コラム」「将来×サイエンス」「ニュースペーパー」などに積極的に取り組んでいるかを観察する。

第4編 地球や宇宙の科学					
第1章 太陽と地球					
①日本の四季と気象災害(1) ②日本の四季と気象災害(2)	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島周辺の気圧分布や季節風の季節ごとの変化と四季の気候の特徴を理解させる。 冬に、日本海側では降雪、太平洋側では晴天となりやすい理由を理解させる。 集中豪雨や台風によって引き起こされる災害について理解させる。 	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 日本周辺の気圧配置や季節風について理解する。 日本列島の冬の典型的な降雪のしくみについて理解する。 集中豪雨や台風によって起こる災害について理解する。 地球規模の気候の循環と、それが日本の気候に与える影響について理解する。 太陽放射エネルギーの収支、緯度帯ごとの特徴を理解する。 温室効果のしくみや温室効果ガスの種類を理解する。 太陽の天体としての特徴を理解する。 太陽光エネルギーの利用について理解する。 天体の運動の周期性、四季の変化や時間の単位について理解する。 大潮や満潮が約1日に2回起こる理由を理解する。 大潮、小潮のしくみについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Q」について、答えさせる。 「やってみよう」①～⑤に取り組みさせる。 「観察&実験①」～⑤に取り組みさせる。 「チェック」について、簡単な説明をさせる。
③大気の大循環 ④地球を出入りするエネルギー ⑤太陽の構造と太陽放射	<ul style="list-style-type: none"> 日本周辺の気圧配置に影響を及ぼす、地球規模で吹風について理解させる。 大気の地球規模での循環は、地球を出入りする太陽放射エネルギーによって引き起こされることを理解させる。 温室効果のしくみについて理解させる。 地球に届く太陽放射エネルギーの量や特徴について理解させる。 エネルギー源である太陽の、天体としての特徴を理解させる。 太陽光が生活の中で利用されていることを理解させる。 	6	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 日本周辺の気圧配置の季節変化と、気候の特徴との関係を説明できる。 台風モデルの観察を通して、台風が通過する際の風向の変化を考察できる(「観察&実験①」)。 集中豪雨や台風によって起こる災害から身を守る方法について考察できる。 大気の大循環が台風の進路や日本の天気と与える影響について説明できる。 太陽光パネルの発電量を調べる実験を通して、地球が受け取る太陽放射エネルギーが、緯度によって異なる理由を説明できる(「観察&実験②」)。 緯度帯によって、大気はどのように運動しているか説明できる。 温室効果のしくみから、地球温暖化問題について考察できる。 太陽放射エネルギーを利用した実験を通して、太陽放射エネルギーの活用について考察できる(「観察&実験③」)。 観察&実験④を通して、地球の運動周期について考察できる。 観察&実験⑤を通して、潮汐について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」①～⑤について振り返り、学習内容を踏まえてグループでの話し合いをさせる。 「活用」(p.170)に取り組みさせる。 「観察&実験①」～⑤の結果について考察させ、レポートの作成、発表、グループ討論などに取り組みさせる。 「未来をひらくサイエンス」について、グループで話し合いをさせる。
⑥天体の運動 ⑦天体の運動と海洋	<ul style="list-style-type: none"> 季節が変化する理由を、天体の運動という観点から理解させる。 天体の運動の周期性と、生活の中で使用されている時間の単位との関係について理解させる。 高潮と干潮の周期性に気付かせる。 観測力のしくみを理解させる。 大潮の時期に、高潮災害の危険性が高まる理由について理解させる。 	5	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 気象現象に興味をもち、日本に四季の変化がある理由や、季節によって起こりやすい気象災害、天体と海洋の運動について、日本周辺の気圧配置や天体の運動と関連づけて、意欲的に理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容をまとめたノートを提出させる。 「コラム」「将来×サイエンス」「ニュースペーパー」などに積極的に取り組んでいるかを観察する。 グループワークで積極的に発言しているかを観察する。
第2章 自然景観と自然災害					
①日本列島とプレート	<ul style="list-style-type: none"> 地球の内部構造について理解し、地球表面を動くプレートによって、地形の起伏がつけられていることを理解させる。 日本周辺のプレート分布について理解させる。 活断層の活動によって地形が変化することを理解させる。 	2	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 地球の内部構造について理解している。 地震発生のしくみを理解する。 地震によって発生する災害について理解する。 マグマの性質と、火山の形の関係について理解する。 火山がもたらす恵みと、火山活動による災害について理解する。 風と流るる水のはたらきによって、山が低くなることを理解する。 侵食、運搬、堆積のはたらきと、形成される地形について理解する。 平野の地形と、土砂災害の関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Q」について、答えさせる。 「やってみよう」①～⑤に取り組みさせる。 「観察&実験①」～⑤に取り組みさせる。 「チェック」について、簡単な説明をさせる。
②地震のしくみと地震活動 ③地震による災害	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生のしくみを理解させる。 マグニチュードと震度の違いを理解させる。 日本列島はプレート境界に位置し、特にプレート境界に沿って多くの地震が発生することを理解させる。 地震によって発生する災害やその危険性について理解させる。 	4	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 地層圧縮のモデル実験を通して、断層の形成と地形の変化の関係について説明できる(「観察&実験①」)。 日本列島のプレート分布と、地震の発生について関連づけて説明できる。 マグニチュードと震度の違いを説明できる。 過去の地震災害の情報を、地形や地層の特徴から、今後の地震災害の危険性について考察できる。 火山噴出物の観察を通して、そのでき方を説明できる(「観察&実験②」)。 火山のハザードマップを読み取り、周辺地域の災害の危険性について考察できる(「観察&実験③」)。 地形の成因と、土砂災害との関係について理解し、今後の災害の危険性について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」①～⑥について振り返り、学習内容を踏まえてグループでの話し合いをさせる。 「観察&実験①」～⑤の結果について考察させ、レポートの作成、発表、グループ討論などに取り組みさせる。 「未来をひらくサイエンス」について、グループで話し合いをさせる。
④マグマがつくる火山と景観 ⑤火山がもたらす恵みと災害	<ul style="list-style-type: none"> 火山噴火のしくみについて理解させる。 火山噴出物の名称と特徴を理解させる。 マグマの性質と噴出量によって、火山の大きさや形が変化することを理解させる。 火山は災害を引き起こすだけでなく、温泉や鉱物資源など私たちの生活に恵みをもたらしていることを理解させる。 火山活動によって引き起こされる災害について理解させる。 ハザードマップを読み取り方を理解させる。 	5	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島周辺のプレート分布と、地震や火山の活動について関連付けて意欲的に理解しようとしている。 地震災害、火山災害、土砂災害のしくみを理解し、地形と災害の危険性について積極的に考察しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容をまとめたノートを提出させる。 「コラム」「将来×サイエンス」「ニュースペーパー」などに積極的に取り組んでいるかを観察する。
⑥水のはたらきと自然景観 ⑦土砂災害と洪水	<ul style="list-style-type: none"> プレートの運動によって高くなった山は、流れる水のはたらきによって低くなることを理解させる。 風化、侵食、運搬の3作用を理解させる。それらの作用によって、山地、河川沿い、平野ではそれぞれ特徴的な地形が形成されることを理解させる。 土砂災害の種類と危険性の高い地形との関係について理解させる。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 「Q」について、答えさせる。 	
第5編 課題研究					
課題研究の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 自然や生活の中から疑問を発見させ、そのテーマについて調べていく方法を学ばせる。 調べたこととまとめ、発表する技術と方法について学習させ、自分の考えを相手に互に効果的に伝えることの大切さを理解させる。 	5			

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 M1 組～ S 組

教科担当者：（M1組：加藤・伊坂）（M2組：加藤・伊坂）（E組：加藤・伊坂）（A組：加藤・三浦）（S組：加藤・三浦）

使用教科書：（現代高等保健体育：大修館書店）

教科 保健体育 の目標： 将来にわたって健康な生活を送る為の体力と精神力を向上させ、生涯スポーツへの基盤を身に付ける。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動種目の固有の技能や動きを身に付けさせる。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができるようになる。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	自主的に取り組もうとする。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	運動種目の固有の技能や動きを身に付けさせる。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができるようになる。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができるようになる。自主的に取り組もうとする。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとする。	・体づくり運動 ・陸上競技 短距離走（50M走、50M走） 長距離走（1500M走） ・バスケットボール 各種パス、ドリブル、シュート リバウンドプレー、速攻、マンツーマンディフェンス	運動種目の固有の技能や動きを身に付けることができたか。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができたか。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができたか。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしたか。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとしたか。	○	○	○	8
				○	○	○	10
	運動種目の固有の技能や動きを身に付けさせる。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができるようになる。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができるようになる。自主的に取り組もうとする。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとする。	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・水泳 クロール、平泳ぎ	運動種目の固有の技能や動きを身に付けることができたか。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができたか。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができたか。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしたか。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとしたか。	○	○	○	2
○	○	○	5				
2 学 期	運動種目の固有の技能や動きを身に付けさせる。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができるようになる。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができるようになる。自主的に取り組もうとする。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとする。	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・水泳 クロール、平泳ぎ	運動種目の固有の技能や動きを身に付けることができたか。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができたか。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができたか。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしたか。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとしたか。	○	○	○	6
				○	○	○	19
3 学 期	運動種目の固有の技能や動きを身に付けさせる。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができるようになる。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができるようになる。自主的に取り組もうとする。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとする。	・バレーボール オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、スパイク、サーブ、3弾攻撃、ゲーム ・ソフトボール キャッチボール、バッティングの仕方 ルールの理解、ゲーム	運動種目の固有の技能や動きを身に付けることができたか。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができたか。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができたか。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしたか。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとしたか。	○	○	○	10
				○	○	○	10
3 学 期	運動種目の固有の技能や動きを身に付けさせる。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができるようになる。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができるようになる。自主的に取り組もうとする。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとする。	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・持久走（12分間走） 球技（サッカー、バスケットボール、バレーボール等）	運動種目の固有の技能や動きを身に付けることができたか。運動種目の領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことができたか。自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができたか。勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしたか。互いに助け合い、自己の責任を果たそうとしたか。	○	○	○	10
				○	○	○	10

